

日本頭痛学会の大麻成分に関する現時点での見解

大麻成分には CBD (cannabidiol) と THC (tetrahydrocannabinol) が含まれ、CBD は乱用を起ささないため比較的安全とされております。両者の合剤が慢性片頭痛の症状軽減をもたらすという報告があり、将来的に医療に応用される可能性は否定できません (Curr Pain Headache Rep 2023;27:339-350.)。しかし、その有効性や安全性は RCT によって十分に確認されておらず、さらには市販されている製品の安全性は担保されていないのが現状です。したがって、日本頭痛学会としては、現時点において大麻成分を片頭痛などの慢性頭痛に対する治療に使用することを推奨できません。

日本頭痛学会代表理事 竹島多賀夫

日本頭痛学会診療向上委員会委員長 柴田 護